

## 設備機器からの水漏れについて



### < 給水設備 >

◇『流し台、洗面台、浴室、洗濯機用水栓、備え付けのガス給湯器』からの水漏れについては、修繕にて対応しますので、住宅センターまでご連絡ください。但し、次のような場合はご自身で修繕していただきます。

### 入居者の負担となる場合

- ①使用者の過失による破損
  - ・凍結による破損も含まれます。（給湯器共）
- ②備品ではなく、入居者が取付けたもの。
  - ・バランス釜・給湯器の買取品やリース品、ウォシュレットや浄水器など。
  - ・接続に伴う水漏れも含まれます。

※自己負担か否かの判断が出来ないときは、住宅センターにご確認ください。



POINT 少量の水漏れだからまだ大丈夫…と放置しないでください。業者へ修理を依頼してもすぐには対応出来ませんので、その間に水漏れが悪化する恐れがあります。症状が悪化した場合は、元栓を閉めるなどして、修繕業者をお待ちください。

### < 排水設備 >

◇排水管からの水漏れについては、入居者過失によるもの以外は修繕にて対応します。

排水の水漏れは目に見えない部分で発生することが多く、入居者は気付きづらいですが、少量の水漏れでも時間の経過により大量に下階へ水漏れする恐れがあります。

下階入居者から申し出があった際は、排水管や床下などの漏水調査・修繕が必要となりますので、速やかに住宅センターへご連絡ください。

なお、排水管からの漏水が疑われるときは、原因の場所が特定出来るまで排水しないようお願いいたします。



排水管からの水漏れの多くは、排水管に油カスなどが溜まって詰まり気味になった所へ水が滞留してしまい、排水管の劣化を促進させてしまうことが原因です。

詰まりの解消には『管内高圧洗浄』が効果的ですが、排水管が劣化してしまうと『管内高圧洗浄』により排水管を破損する恐れがあり、作業できない場合もあります。日頃から、排水口の清掃を行い、油は絶対に流さないように気を付けてください。



POINT 「台所で使用した油」の処理は、油を固める製品を使用するか、新聞紙などに吸わせて、燃えるゴミとして処分してください。

また、調理器具や皿に残った油分も、洗う前に拭き取っていただくことで排水管の詰まり予防になります。

